

P波の増高がより著しく、逆に I.H.S.S 例ではP波の増高に比べ、ST 低下がより著しいものが多かった。
5. C.C.M. 及び I.H.S.S 例の運動負荷による心電図

変化の程度を V_5 と aVF で比較すると、 aVF により強く現われることもあり、左側胸部誘導のみの記録では、不十分で、この両者の記録が必要である。

小児心疾患児の管理指導に関する研究 (II)

東京女子医大循環器小児科	高	尾	篤	良
	安	藤	正	彦
	清	水	秀	二
	高	橋	良	明
東京女子医大看護短大心理学	長	谷川		浩
文教大学人間科学部心理学	岡	堂	哲	雄

昭和55年度は小児慢性疾患のうちの心疾患児の健康管理と指導の資に供する目的で、1)体表面電位図によるフェロー四徴症術後の右脚ブロックの検討、2)トレッドミル(ブルース変法)によるフェロー四徴症心内修復術後患児の運動負荷テストおよび、3)心疾患児の心理学的特徴調査計画について報告した。

昭和56年度は 1) 体表電位図による諸種心疾患および S_I , S_{II} , S_{III} 心電図の検討、2)トレッドミル(ブルース変法)によるフェロー四徴症術後、大動脈縮窄、左室流出路狭窄症例の検討、3)東女医大心研入院中の心疾患児の心理学的特徴調査についてまとめた結果を報告する。

(I) 諸種先天性心疾患 $S_I S_{II} S_{III}$ 心電図の体表電位図

東京女子医大循環器小児科	高	橋	良	明
	相	羽		純
	高	見	沢	邦
	高	尾	篤	良

〔対象と方法〕

使用器械は帝人東工大作製のカルジオビジョン。電極は128個。対象例はコントロールとして正常健康小児40例。対象は、I-TGA 17名、TOF 23名、ASD (II) 10名、PS 3名。スカラー心電図上 $S_I S_{II} S_{III}$ を示す心疾患7名である。

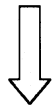
〔結果〕

正常例、Breakthrough は胸骨正中と左前腋窩線及び

第3肋間と第6肋間にて囲まれる領域(正常領域)に 27.5 ± 4.6 msec で出現した。

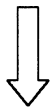
I-TGA 17名中、SLLT は極大極小関係は、Horizontal loop を描いたが、VSD と PH 合併例および SLV は Vertical loop をとった。Breakthrough は SLV の場合正常より左に位置し、out let chamber 付近より出現した。

TOF 例では、Breakthrough は正常領域内に平均



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



昭和 55 年度は小児慢性疾患のうちの心疾患児の健康管理と指導の資に供する目的で,1)体表面電位図によるファロー四徴症術後の右脚ブロックの検討,2)トレッドミル(ブルース変法)によるファロー四徴症心内修復術後患児の運動負荷テストおよび,3)心疾患児の心理学的特徴調査計画について報告した。